

09年6月26日ヨーク郡警察ニュース

JSSによる情報提供

リッチモンドヒル町で死亡自動車事故

ヨーク郡警察事故調査課は現在、リッチモンドヒル町で起きた死亡自動車事故を調査中である。

6月24日水曜日午前11時50分ごろ、19才になるリッチモンドヒル町在住の男性が運転する日産マキシマ2000が、バザースト通りのカービル通り南より地区の左通過車線を南進していた。ドライバーは左車線の速度が落ちたので右側の歩道より車線に移った。ドライバーが緩行する車両に近づいた時、突然歩行者が東から西に向けて、車の後ろから日産マキシマの前に飛び出した。この歩行者はバザースト通りを東から西に、横断歩道のない場所で横断しようとして車にはねられた。

86才になる、リッチモンドヒル在住の男性歩行者は病院に搬送され、受けた傷のため後に死亡が確認された。被害者の氏名は公表されない。

日産のドライバーは無傷であった。

この事故は現在事故調査（事故再構成）課が調査を続けている。事故に関する情報を持っている人は事故調査課に電話1-866-876-5423, ext. 7704するか、またはクライムストッパーズに匿名で連絡（電話1-800-222-TIPS またはオンラインで情報を www.1800222tips.com に、ないしはTIPYORKのCRIMES (274637)にテキストメッセージを）されたい。

JSS説明

手元に統計がないので数値で述べることは出来ないが、日ごろ接している警察のニュースでは、高齢者が被害者となった歩行者事故は少なくない。

訳出した事故も高齢者が被害者になっている。高齢者が皆そうだということではないが、交通の常識ないしは法規に沿った交通が高齢者によって無視されるケースは少なくない印象がある。自身の運動反応能力過信、時代に伴う常識の変化などなど理由はいくつもあると思われるが、自身の安全のため、そしていわゆる加害者に与える不利益にも十分注意したい（訳者自身は現在69才であり自省する次第である）。

一方、記事にある事故で、加害者の立場に立ってしまった19才の若者の心情は想像するに難くない。殆ど偶然の積み上げのみで、高齢者の死亡を招いたショックはいかばかりかと想像する。言い古されているし、殆ど口癖のような言葉であるが、常に瞬間の注意を怠ってはならないと、改めて認識できるニュースである。